

施設理念

ご利用者の日々を満たす

法人理念であるキリスト教精神における「隣人愛」に則り、ご利用者一人ひとりが自身の生活を楽しむことができる快適な環境を用意し、個別の合理的配慮の徹底を常に模索します。

わたしたちは、提供する障害福祉サービスの向上のため当事者主体のサービスを追及し、ご利用者一人ひとりに必要な支援について話し合う力を高めます。課題解決に際してはチームアプローチを基本とし、よりきめ細かいサービス提供を実現するためのチーム支援力を高めます。

わたしたちは、ご利用者はもとより職員や地域の皆さんも「行きたくなる場所づくり」を目指します。そのために「風のガーデンこまば」の取り組みなど、できるだけ開放的な雰囲気の中で、さまざまな交流が生まれ、用がなくても顔を出したくなるような場所づくりを行います。

ご利用者の高齢化・支援ニーズの多様化に合わせ、バリアフリー化等の改修工事を進めます。またリハビリテーションなどこれまで行えなかったサービスを導入することを目指し、ご利用者のニーズを的確に把握し、改修内容に反映します。

職員一人ひとりの思いを事業活動に反映させるため、各種委員会活動をさらに積極的に行い、全職員が運営に関わる仕組みを作ります。職員一人ひとりが主体性を持ち、目の前のご利用者の日々を満たすための取り組みを自ら考え、チームで相談し、わたしたちの支援を一步先に進められるように努めます。

施設ホームページ等を活用し、積極的な情報発信を行います。施設という形態の持つ閉鎖性の傾きに対して「見える化・見せる化」の取り組みを続けることにより、ご利用者と地域の皆さんが名前で呼び合えるような地域に開かれた施設を目指します。

ご家族や自治体、地域福祉事業所など様々なネットワークを活かし、ご利用者の生活が施設内で完結することなく、たくさんの選択肢のあるバリエーション豊かな生活になるように努めます。また目黒恵風寮が地域資源のひとつとして活かされるよう努めます。